

読んで知らう!
住んでるまろの
議会情報!

The 市議会

ザ・シギカイ

Vol.49 2018.2

議会新体制	.. 2
総合計画	.. 4
委員会レポート	.. 6
一般質問	.. 9
議決結果	.. 16



五穀豊穣
家内安全

Y.Kijima

新春インタビュー

新議長・副議長に聞く！

～山陽小野田市議会のこれから～



改選後、初めての議会だよりの編集に当たり、今期の議会の取り組む方向や委員会の構成をお伝えします。

広報特別委員会では新しく就任された小野泰議長、矢田松夫副議長にインタビューを行いました。二人の議会改革への思いなど、市民の皆さんへのメッセージをお届けします。

(聞き手：山田伸幸委員長、森山喜久副委員長)

■ 二元代表制の一翼として

○ 議長・副議長に就任しての感想は

(議長) 責任の重大さを強く感じる。二元代表制の一翼を担う議会であり、私自身、議会の代表として、今まで以上に気を付けて発言しなくてはならない。

(副議長) あっという間に時が過ぎた。目まぐるしく日々が移り変わり、じっくり座るという感じは全くない。

■ 議会基本条例に基づいた議会改革を

○ 議会報告会の位置づけは

(議長) 市民の皆さんが期待される、望まれるような報告会にしたい。今まで同様の議会報告を行うのはもちろん、さらに市全体に関わる要望・意見交換を行ったり、地域の課題を聞き、それに対して議会が対応していく。そういうことができれば良いと思う。

(副議長) 議員自らが市民の皆さんに、議会に関心を持ってもらう努力をすることが必要だと思う。関心を持つということが議会、議員を監視することである。関心の持てる報告会にしたい。

○ 議会改革のあるべき姿は

(議長) 議会と執行部は車の両輪と言われている。それぞれの立場を尊重した議論を進めていくことが大事なことだと思う。議会基本条例の精神を生かした議会改革をしていきたい。二元代表制の一翼として行政運営に対する評価や監視機能を発揮し、政策立案機能も果たすことが必要である。議会基本条例の議会の活動原則と議員の活動原則に基づき、議員一人一人がそれぞれ努力していくことが必要だと思う。

(副議長) 開かれた議会、これをまず進めることが議会改革の一里塚だと思う。市民目線が一番大事な要素である。



■ 全議員で力を合わせて

○ 市民の皆さんへ一言を

(議長) 昨年10月に改選があり、新人8人を含む22人の議員が決まった。議会基本条例を具体化するために、議員全員で力を合わせて、市民の幸せと豊かなまちづくりに向けて、全力で頑張っていく。

(副議長) 議員・議会は努力するけれど、市民の皆さんも議員・議会に関心を持ってほしい。関心を持つということがやっぱり監視につながる。



小野 泰 議長



矢田 松夫 副議長

議会が新体制で、さらなる議会改革に向けて変わっていくことを期待して、インタビューを終わります。

お知らせ

各委員会の所属委員を紹介します

委員会構成

10月臨時会において、4つの常任委員会の構成も新たなメンバーが選任されました。

総務文教常任委員会

総務部、総合政策部、文化・スポーツ振興部、監理室、大学推進室、教育委員会の所管に属する事項などを担当します。

- ・委員長 河野 朋子
- ・副委員長 伊場 勇
- ・委員 笹木 慶之 高松 秀樹
長谷川 知司 宮本 政志
森山 喜久

民生福祉常任委員会

市民生活部、健康福祉部、病院局の所管に属する事項を担当します。

- ・委員長 吉永 美子
- ・副委員長 山田 伸幸
- ・委員 大井 淳一郎 杉本 保喜
恒松 恵子 松尾 数則
矢田 松夫

産業建設常任委員会

産業振興部、建設部、水道局、農業委員会の所管に属する事項を担当します。

- ・委員長 中村 博行
- ・副委員長 岡山 明
- ・委員 奥 良秀 河崎 平男
水津 治 中岡 英二
藤岡 修美

一般会計予算決算常任委員会

一般会計の予算及び決算に関する事項を担当します。

- ・委員長 矢田 松夫
- ・副委員長 河野 朋子
- ・委員 議長を除く全議員で構成

第二次山陽小野田市総合計画

本市のまちづくりの指針となる第二次山陽小野田市総合計画（平成30年度から12年間）について、全議員による「総合計画審査特別委員会」を設置し慎重審査しました。

◎総合計画の構成

基本構想	市の将来都市像とそれを実現するためのまちづくりの基本的な方向性を示すもの
基本計画	基本構想の実現に向けて必要となる施策を分野別に示すもの
実施計画	基本計画に掲げる施策の目的を達成するための具体的な事業を示すもの



◎山陽小野田市の将来像

- まちづくりの基本理念 …… 住みよい暮らしの創造
- 将来都市像 …… 活力と笑顔あふれるまち
- キャッチフレーズ …… スマイルシティ山陽小野田

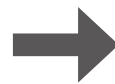


◎重点プロジェクト(スマイルUPの3本柱)

にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクト
～地域の特性を活かしたまちへ～

子育て世代から選ばれるまち推進プロジェクト
～もっと住みよいまちへ～

まちの魅力発信向上プロジェクト
～住んでみたいまちへ～



活力と笑顔あふれるまち



を審査しました！

<各分科会で集中審議>

全体での審議の後、基本構想、総務文教、民生福祉、産業建設の4つの分科会に分かれて所管する分野について審議を行いました。その結果、前期基本計画における目標指標、評価指標の設定内容を明確にすべき又は他の指標とすべきであるなどの理由により、25項目について修正をしました。

主な意見

- ① 「市民とともに」「市民サイドの視点」を常に念頭に置いて施策の推進に取り組むべきである。
- ② 重点プロジェクトに記載されているにもかかわらず、基本施策の中に入らない事業がある。
- ③ 行政と市民が連携して官民一体のまちづくりをするためにも分かりやすい総合計画とすべきである。

* 主な修正点

修正前	修正後	修正理由
空家等相談の助言率	空家等相談の解決率	相談に真摯に対応する市の考えを明らかにすべき
厚狭駅南口駐車場の利用台数	厚狭駅南口駐車場の稼働率	利用台数では利用状況の判断ができない
不登校児童生徒数の割合 前期目標値 減少させる	不登校児童生徒数の割合 前期目標値 1.1%	県の平均値が1.1%と数値化されており、そこを目指すべき
プロサッカーチーム	レノファ山口	応援機運を高め、地域一体感醸成に努めるためにもしっかりと表現すべき

分科会からの報告をもとにした修正案は全員賛成
修正した部分を除く原案は賛成多数で可決されました。

* 修正した部分を除く原案に対する討論

反対	賛成
高齢化が問題点であるような表現に違和感を覚える。第一次総合計画の検証も十分に行われていない。	総合計画を推進し、市役所一丸となって困難を解決した後の市政は、未来を明るくするものである。

■ 総務文教常任委員会

条 例

●組織条例

地域振興部を新設

概要 第二次総合計画に示す「基本理念」の具現化を目指して、より機能しやすい組織体制を再構築します。「文化・スポーツ振興部」を廃止し、新たに「地域振興部」を設置し、「総合政策部」を「企画部」に、「市民生活部」を「市民部」に、「健康福祉部」を「福祉部」に、「産業振興部」を「経済部」とするものです。

主な質疑

Q 地域振興部を、思い切ってシティセールス部にとは考えられなかったのか。

A 当初、そのような考えもあったが、シティセールス課として明確に示していこうということになった。

Q 4月1日施行だが、この時期に条例改正する理由は。

A 今から予算編成があるので、地域振興部所管のシティセールスの業務についての予算配分をするためである。

Q 福祉部に新たに「子育て支援に関すること」が入ったが、現在はこども福祉課や健康増進課それぞれが子育て支援に関して行っている。これらの課の統合について、今後考えているのか。

A 子育て支援は非常に重要で、以前からその一元化ができないかという指摘もあった。できるだけ窓口は一本化していきたいということで、この項目を入れた。課の統廃合ということも、そ上に載るのではないか。

結果 全員賛成

契 約 関 係

●請負契約の一部変更

理科大電気工事の増額

概要 山口東京理科大学薬学部増築工事（A、B棟電気設備工事）の請負契約について、A棟、B棟の階段の照明をバッテリー内蔵型に変更し、A棟2階の各実習室と中講義室、プレナリーセッション室と各SGD室の間のネットワークを構築するため、1186万9200円増額し、8億48万5200円とするものです。

主な質疑

Q 平成29年3月に議決した議案であるが、その時の契約金額はいくらか。

A 7億6680万円である。

Q 結局当初よりも4000万円増額となっている。本会議場で今後も増額の可能性があるか得るとの答弁があり、議会としては議決が軽視されていくようだがどうか。

A この事業が非常にタイトで、ソフトの分野までに協議が至っていなかったということで、現在、工事を進行しながら大学と教育環境の整備を併せて行っている。その中で追加の電気工事が出る可能性があるという趣旨で答弁した。本来であれば潜在しているリスクというものにももう少し慎重に検討・協議をした上で設計に当たるべきであったと反省をしている。

結果 全員賛成



←建設中の薬学部校舎

■ 民生福祉常任委員会

特別会計

◎ 29 年度病院事業会計補正予算

4 月から白内障治療が可能に

概要 産科医等確保支援事業補助金の対象分
娩件数の増の見込みで 103 万円増額、支出
では白内障治療を行うための医療器械を購
入するために 5800 万円増額するものです。

主な質疑

Q 白内障治療実施のきっかけは。

A 以前から患者の要望があり、医大からの
医師派遣で手術が可能になったことである。

Q 緑内障への対応は。

A 緑内障の手術は非常に難しく、予定はな
い。

結果 全員賛成

指定管理

◎ 中央福祉センターの指定管理者の指定

損傷のリスク分担に課題

概要 平成 30 年度から 3 年間の指定管理者に
山陽小野田市社会福祉協議会を指定するも
ので、指定管理料限度額は 3 年間で 3696 万
円です。

主な質疑

Q 指定管理料限度額の設定に問題はないか。

A 過去 3 年間の実績を基に決めており、不
足はないと判断している。

Q 施設等の損傷のリスク分担が他の施設は
10 万円以下に対して、当該施設のみ 1 件 50
万円以下となっている理由は。

A 施設の規模が大きいことや併設のお風呂
の修繕にある程度の金額を要することを勘
案しての設定である。

結果 全員賛成

条例

◎ 子育て総合支援センター条例の制定

4 月に開所予定

概要 妊娠期から子育て期までの家庭が安心
して子どもを産み、育てられる環境の充実
を図るため、子育て総合支援センターの設
置に必要な事項を定めるものです。

主な質疑

Q シンプルな条例とした理由は。

A 必要なものを条例として制定し、細かな
ことは規則等で規定する方針としたため。

Q 施設の愛称は。

A 設定する予定である。

Q 指定管理についての考えは。

A 当面は直営とする。

結果 全員賛成

【事業内容】 地域子育て支援拠点事業、子育て
コンシェルジュ事業、ファミリーサポート
センター事業、家庭児童相談事業など

【開館日】 水曜、日祝日、年末年始を除く毎日
(ただし毎月第 1 日曜はイベントを開催)

【開館時間】 8 時 30 分から 17 時 15 分

【職員体制】 センター長、支援員、保健師、子
育てコンシェルジュ、家庭児童相談員など



← 中央福祉センター

■ 産業建設常任委員会

特別会計

◎ 29 年度下水道事業補正予算

交付金は要望額の 6 割

概要 交付金確定に伴う事業費の減、落札減等による歳出の減、事業費の減による国費の減、市債の減、それらに伴う歳入の減を計上したもので、歳入歳出の予算総額から 2 億 7605 万 4000 円を減額するものです。

主な質疑

Q 事業を進める中で内示および交付決定の時期はいつか。

A 内示が 3 月 31 日、交付決定は 6 月初旬になる。

Q 交付金が要望額の 6 割になったことについての影響、対応策はどうか。

A 平成 27 年度から 6 割になり、稼働に必要な機械等のメンテナンスを優先的に進め、事業の順序を入れ替えて、新設工事を継続する。

結果 全員賛成

◎ 29 年度農業集落排水事業補正予算

水位計等の補修

概要 修繕料の増による歳出の増額、それに伴う繰入金、繰越金の補正額を 106 万 6000 円とするものです。

主な質疑

Q 集落排水施設の老朽化は大丈夫か。

A 3 年前に調査をし、老朽化が一番顕著だったのは小野田西地区で、検討の結果、公共下水道に接続が有利であるとの判断とした。福田地区、仁保の上地区は現状維持とする。

結果 全員賛成

指定管理

◎ 都市公園他施設の指定管理者の指定

都市公園の管理者決定

概要 募集に対し、指定管理者選定委員会を開催し、審査基準に基づき指定。期間は 3 地区ともに、平成 30 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 3 年間としました。

① 小野田南部地区都市公園

嶋田工業(株)1 者の応募がありました。指定管理料限度額は 1 億 1850 万 9000 円です。

② 小野田北部地区都市公園

2 者からの応募があり、山陽小野田市シルバー人材センターを指定しました。指定管理料限度額は 8891 万 2000 円です。

③ 山陽地区都市公園

山陽小野田市シルバー人材センター 1 者の応募がありました。指定管理料限度額は 4035 万 2000 円です。

主な質疑

Q 大学薬学部開設により、女性の利用増が想定される浜河内緑地公園の安全性をどう考えているのか。

A 夜間の利用について管理が困難であり、利用者に注意喚起していく。

Q 糸根公園の松原は、市の文化財である。松くい虫の防除等はどうか。

A 指定管理とは別に市が行う。

結果 全員賛成



← 糸根公園の松原

災害時支援協定

おもてなしサポーターのミニのぼり



問 民間に対する災害時支援協定の現状と今後の連携等の維持向上策は。

答 本市では主に建設関係、避難所関係及び物資関係等の分野について現在36団体と協定、覚書を締結している。しかし、現状の確認が不確実なものもあり、最低、年に一度は連携の確認を実施し、訓練に参加していただき、市民の安心・安全のため協働していきたい。

問 小野田駅南北自由通路は、交流、利便性の向上において重要であり防災上も重要なものとするがどうか。

答 本件は合併前から検討・研究され、都市再生整備計画策定時の地元説明会でも要望を聞いている。今回の計画には含まれていない。連絡通路と橋上駅とのあり方等は、整備の時期や費用対効果等を含め、今後も研究していく。

観光行政の行程は

問 おもてなしサポーターをはじめ、市民の活動が今後どのように反映されるのか。

答 市民参画は重要であり、おもてなしサポーターやボランティアガイドの育成にとらわれず市民が活躍できる場を提供し、観光地域づくりに取り組みたい。また、他市の観光支援団体に比べ、本市は見劣りしているので観光協会を支援しながら観光ボランティアの養成など、対応を検討していく。

小野田駅周辺の環境改善は

すぎもとやすき
杉本保壹議員



【今回の一般質問】

- ・ 防災体制
- ・ 小野田駅前地区再生計画
- ・ 観光交流の振興

■ 一般会計予算決算常任委員会

● 一般会計補正予算

市税 1 億 700 万円の増額

概要 児童クラブ施設整備補助金、自立支援給付費、就学援助費、人件費の調整、歳計剰余金処分等の取り急ぎ措置すべき案件の補正で、歳入歳出それぞれ4億3856万円を増額し、総額356億6617万3000円とするものです。

主な質疑

<総務文教分科会>

Q 市民税法人割が4400万円の増額だが、業績が好調であったのは、どのような企業か。

A 製造業関係で特に2社に収益の伸びが見られた。

Q 新入学児童生徒学用品費の前倒し支給により入学資金貸付金が減額となったが、就学援助の見込み予定者は。

A 小学生135人、中学生が136人を見込んでいる。

<民生福祉分科会>

Q 厚狭地区の児童クラブ施設を整備することで待機児童はなくなるのか。

A 新たに約40人の受け入れが可能となり、待機児童はなくなると思っている。

Q 6年生までの受け入れは可能か。

A 現時点では難しい。

<産業建設分科会>

Q 小野田駅前都市再生整備事業で区域内に所有者等が不明の土地、建物はあるか。

A 所有者が不明な土地等はない。

Q 都市再生整備事業の委託料184万円は入札減と捉えて良いか。

A 入札による差額である。

結果 全員賛成



埴生地区の安全

問 台風が来るたびに心配になる前場川の護岸工事の進捗状況はどのようになっているか。

答 前場川の護岸整備については、周防高潮対策の一環として山口県が事業主体で実施している。平成18年度に工事着手し、現在約69%の進捗率となっている。今、市道浜崎1号線の船出橋の架け替え工事を行っている。地域住民の安心安全のため早期完成を要望していく。

問 公共施設再編に伴い、埴生地区複合施設への緊急通報システムJアラートの設置の考えはどうか。

答 現在、このシステムは本庁舎、厚狭地区複合施設、桜一丁目、川上会館の4カ所設置している。近年さまざまな災害が発生しているが、市民への情報伝達は極めて重要であるのでいろいろな伝達方法を考えている。この装置は、高額な費用がかかり、音の届く範囲が限られていることもあり現段階では考えていない。

地域の課題解決は

問 市民病院への通院や交通の不便を感じている市民が多い中、埴生地域には医療機関が皆無状態であるので、出張診療所の設置の考えはどうか。

答 新たな診療所の設置は考えていない。訪問診療や往診可能な病院もあり、今ある医療資源の活用に努めていく。

まちづくりはこれでよいのか

【今回の一般質問】
 ・本市のまちづくりについて
 ・埴生のまちづくりについて



かわさき へいちろう
河崎平男議員

将来を見据えたまちづくりを

【今回の一般質問】
 ・コンパクトシティ計画について
 ・シティセールスについて



いばいさむ
伊場勇議員

問 コンパクトなまちづくり事業として平成29年1月厚狭駅南部地区まちづくり基本計画を策定したが、6つの具体的な取り組みの進捗状況はどうか。

答 ①コーポラティブ方式住宅は現在まで申し出がない。②公立保育所の整備は基本計画遂行中である。③公的賃貸住宅は県に要望中である。④スマートタウンの実現は建設予定の建物に関する再生可能エネルギーを検討中である。⑤緑のネットワーク実現は桜川の有効利用を検討中である。⑥多世代交流拠点の充実はさくら公園を充実させながら検討していく。

問 公立保育所整備において保育所がなくなる地域についてのまちづくりの考えはどうか。

答 保育所がなくなる地域についての具体的な計画はない。保育所に人が集うよりも、便利な通勤過程にある施設が有効ではないかと考えている。

問 シティセールスについて基本的な考え方はどうか。

答 市が有する地域資源を戦略的かつ効率的に市内外に発信し、人や企業に関心を持ってもらうことが、将来の地域創生につながるツールと考えている。

先進的なチャレンジを求める

問 市ホームページのスマートフォン対応と市独自のアプリケーションの作成は今後あるのか。

答 現在検討している。観光協会のホームページはスマホ対応となっている。



厚狭駅新幹線口



大学周辺整備

問 市道大学通り線の西側部分は歩道や街灯がない片側歩道である。夕方や夜間に歩行者が歩道でなく西側の車道上を横断したり通行したりして危険であるが、認識しているのか。

答 現地の確認はしている。周辺の土地利用を勘案して、今後の対応をしていきたい。

問 今後、若い女性の利用が増えると思われる雀田駅の駅舎及びトイレについて、古くかつ防犯上も死角が多く、問題があると思うがこのまま放置するのか。

答 確かに老朽化が著しく、防犯上も大変危険な状況と認識している。JR西日本には、改善要望を行っているが、未回答の状況である。今後、大学周辺のまちづくりの観点から手法を探っていききたい。

民間は限界。行政の積極介入が必要

問 大学周辺では、宇部市の土地が細長くくちばしのような状態で、小野田赤十字病院近くまで入り込んでいて、まちづくりの支障となっているが、個人や民間では解決できないこの問題を行政は検討しているのか。

答 まだ検討していない。内部で協議し、宇部市に話をしたい。

大学周辺の環境整備へ積極施策を

【今回の一般質問】

- ・ 公共施設の耐震化
- ・ 高齢化社会への対処
- ・ 大学のあるまちづくり



はせがわともじ
長谷川知司議員

いじめの現況と取り組みの効果は？

【今回の一般質問】

- ・ いじめ対策について
- ・ 農業政策について
- ・ 障害者支援について

なかむらひろゆき
中村博行議員



いじめ対策

問 文科省による平成28年度の全国小中高校などのいじめ調査結果で、過去最多の約32万件と公表したが、近年の市内小中学校のいじめの傾向と実態はどうか。

答 平成25年度32件、26年度52件、27年度46件、28年度は文科省の通知により、軽微なものも含め積極的な認知をした結果78件と増加したが、解消が70件、残り8件は転校や卒業により未確認の状況である。今後も児童生徒の小さなサインを見落とさないよう学校の全教職員が複数の目で見守り、組織的な教育相談体制づくりを進め、早期発見、早期対応を行い解消率100%を目指したい。

不登校児童生徒の現状と対応は？

問 不登校の児童生徒の現況と個々への対応は十分な配慮がされているか。

答 年間30日以上欠席した不登校児童生徒は、平成25年度から3年間は約55名と横ばい傾向だったが、28年度は65名に増加した。不登校の原因もインターネットの普及により、スマホ依存やSNSを介したものなど複雑化している。校内教員相談体制の整備はもとより、心の支援室支援員による相談、ふれあい相談室での学習保障、心理の専門家や福祉の専門家の派遣を行うなど関係機関とも連携しながら、児童生徒に寄り添った対応を行っている。その成果として約7割が好ましい状況へと変化している。

いじめをなくそう



矢田松夫議員



埴生漁民アパート
明け渡しの撤回を

【今回の一般質問】

- ・安心し住み続けられる住宅
- ・出合地区のまちづくり

市営住宅

問 入居者の落ち度で12月末までに退居しなければならない理由があるのか。

答 理由はない。地権者とさら地返還を10年前に約束し、アパートの解体をするために明け渡し通知を出した。

問 漁業従事者や高齢者も多く、他の市営住宅への移転を求めた3回の説明会開催だけで、入居者が理解と納得したのか。

答 移転については納得していない状況で12軒の方がまだ住んでいる。

年度内の解体は難しい

問 なぜアパート入居者だけ明け渡し通知を出されたのか。

答 敷地内の工場・倉庫・住宅については、さまざまな課題があり、解決まで年月を要することを、地権者も理解している。

問 明け渡し通知書は、期限を定めずに撤回すべきと思うがどうか。

答 12月末日までの移転期日期限を取り消し、年度内の解体は難しいと判断している。期限については、居住者の意向を十分参酌し今後検討していきたい。

問 萩原団地は出合地区の世帯数16%を占めているが、人口が10年間で367人減少したのは、萩原団地への入居者減が起因しているのではないのか。

答 萩原団地の空き室が増えていることも起因の一つであり、古いから公募をしても希望者がいない。去年は1軒の入居者だった。



全面的にさら地返還を求められた建物

改修後、子育て総合支援センターに



子育て支援

問 旧労働基準監督署を改修して、子育て総合支援センターができるが、その機能はどうか。

答 メイン事業は、妊娠、出産、子育てに関する相談及び助言で、これまでの各事業を集約し、専門的な見地から相談支援をワンストップで行いたい。

乳児全戸家庭へ情報発信を

問 利用者数を年間8000人見込んでいますが、施設に来てもらうためには、赤ちゃんが産まれた全ての家庭を訪問する「乳児全戸家庭訪問事業」を通じ、フェイストゥフェイスで、若いお母さんへ情報発信してほしい。

答 訪問時に直接チラシを配ることで、より理解し受け入れやすくなると思うので、母子保健推進員の研修で、施設について説明し、各戸訪問できるよう努力したい。

問 堅いイメージの建物だが、気軽に立ち寄れる施設にするためにも、外観の改修や名前の検討をすべきと思うがどうか。

答 外観は工夫したいと現在検討している。また名称は、愛称を公募し、普段から愛称として呼んでもらえるようにし、このセンターの活動を広げていきたい。

問 センターでのワンストップ化を実現するためにも、それに合わせた組織改革が行われるべきではないか。

答 健康増進課等の業務をこども福祉課に一元化する形に持っていきたい。

子育て支援の
ワンストップ化を

河野朋子議員



【今回の一般質問】

- ・子育て支援について
- ・行政改革大綱について



地域と学校

問 子供たちの豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を目指し、コミュニティ・スクールの推進に取り組んでいるが今後のあり方と推進方策について伺う。

答 本市は、本制度導入前に学校支援地域本部事業を実施していたため、地域の方には支援の意識が浸透している。この支援の関係を対等の協働に変えていくことが必要である。地域と学校が協働し、地域全体で子供たちの成長を支え、住民間のつながりの創出や自助共助の涵養を推進し、地域創生につながることを目指している。

それでいいのか！安心なまちづくり

問 近時緊迫した国際情勢にあって市民の生命、身体及び財産を保護するための措置が必要とされ、市国民保護計画に基づく適切な対応が強く求められている。危機的な情報を市民に的確に知らせる方法としてJアラート、携帯電話等があるが、最低の生活インフラである携帯電話が受信できない地域が存在する。地域の安全確保を含めそれでいいのか。

答 携帯電話事業者3社の受信できない不感地域は解消されつつあるが、受信できない地域があることも認識しており、現在その調査をしている。この調査結果を基に、県に報告し、県と連携し、携帯電話事業者に施設の整備・拡充を要望していきたい。

ささきよしゆき
笹木慶之議員

地域と共にある
学校づくりは

【今回の一般質問】
 ・地域と共にある学校づくり
 ・市国民保護計画の対応
 ・有害鳥獣対策の施策



デマンド交通を
全市に

【今回の一般質問】
 ・デマンド交通
 ・宇宙監視用レーダー配置
 ・国保単一県化 など

やまだのぶゆき
山田伸幸議員

地域公共交通

問 公共交通は市の総合計画で、鉄道やバス路線がデマンド交通と同様の扱いとなっている。市議会が求めてきたデマンド交通への取り組み姿勢が総合計画からはうかがえない。議会報告会で多くの市民から一刻も早いデマンド交通の実現を望む声が多数寄せられている。実証運行に区切りをつけて運行範囲の拡大が必要ではないか。

答 公共交通網形成計画に基づき、持続可能な公共交通の実現に向けバス路線の再編等検討している。検討に当たっては、幹線と支線の明確化が必須と考えている。支線については、バス運行ありきではなく路線バス以外の交通手段導入を検討している。

体制の整備を

問 デマンド交通を実施するには十分な体制が必要だ。現在の体制では弱くプロジェクトチームの設置を要望する。市民の利便性向上のためにデマンド交通の導入が必要だ。市役所全体のやる気が試されているのではないか。

答 指摘のとおり現在の体制は十分ではない。今後、対策室のようなものを整備していく。地域公共交通網形成計画が5カ年計画となっているが、前倒しできるように努力をしていく。その整備を来年4月から組織の体制も考えている。



デマンドタクシー「殿様号」

藤岡修美議員



さまざまな角度でまちづくりに挑戦

【今回の一般質問】

- ・スポーツによるまちづくり
- ・明治150年記念事業参画
- ・歴史民俗資料館の企画展

チャレンジデー

問 スポーツによるまちづくり推進計画において、市民が週1回以上スポーツを行う割合を50%にすることを基本目標としているが、具体的にはどのような施策があるのか。また、自治体間でスポーツを行った住民数（参加率）を競うチャレンジデーへの参加はどうか。

答 市民がスポーツをするためには、体育施設、スポーツ施設の整備充実をしていかなければならない。また、スポーツ関係団体との連携強化、指導者の研修会の開催や研修派遣など総合的に生涯スポーツの振興を図っていく。チャレンジデーの取り組みは、一つの手法として素晴らしいと思うので検討していく。

歴史や文化を生かしたまちづくり

問 本市には来島又兵衛など維新に関わりのある人物もいたのでは、明治150年記念事業に参画して、シティセールスの一助としてはどうか。

答 歴史、伝統文化を市の宝として活用していくが、来年は明治150年に当たるので、しっかりと取り組んでいく。

問 歴史民俗資料館では優れた企画展が開催されているが入場者が少ない。他のイベントと組み合わせるなど、まちづくりに生かす方法はないか。

答 他のイベントと組み合わせる企画展の入場者増を図るためには、テーマやキーワードを関わりのあるものにする必要があり、研究していく。



地域でのテニス教室

本市出身の「山口県ふるさと大使」



シティセールス

問 市の魅力を発信するシティセールスの手法について、本市のホームページに載っている「全国移住ナビ」を今後も活用していくのか。

答 来年度以降、新たなプロモーションビデオを制作するなどして、積極的に移住ナビを活用していきたい。

問 全国移住ナビについて、本市の発信は大変弱いと感じる。シティセールスは横断的に行わなければいけない。閲覧者が他自治体の移住ナビと比較すれば、本当に移り住んでもらいたいと思っているのかと疑問を持たれかねない。せめて、他市に劣って見えないようにはすべきでないか。

答 縦系列の組織で考えていたので、その辺は非常に反省している。今後、地域振興部の設立と共に、横断的かつ積極的に早くデータを作って、どんどん公表できるようにしたい。

問 ふるさと大使設定の考えはあるか。

答 ふるさと大使に代表されるような制度がより効果的であるという認識は持っているので、新しいプランの中でまとめた上で取り組んでいきたい。

若者の考えを生かすことが必須

問 シティセールスを行うに当たり、若い人たちのみずみずしい声、斬新な発想をもらうことは絶対に必要ではないか。

答 若者の意見を聞く場、事業に参加する機会などを設定し、多くの若者にシティセールスに関わってもらうよう積極的に検討していきたい。

市の魅力発信は手法が命！

【今回の一般質問】

- ・シティセールス
- ・スポーツの推進
- ・子どもの読書活動 など

吉永美子議員





小野田児童館の耐震、老朽化対策

【今回の一般質問】

- ・ 公営施設の老朽化対策
- ・ 障害者等駐車場の適正利用
- ・ 選挙における投票について

児童館の耐震化

問 昭和34年に建築された市立図書館は、現在は小野田児童館として、1階は児童館と放課後児童クラブ、2階は市の教育委員会が心の支援室として利用しているが、この児童館の耐震調査はどうか。

答 これまで、診断を行うべき施設としての要件にかなっていないという判断のもとに、行っていない。

問 本市に耐震改修促進計画があるが、耐震化の目標を設定する建築物は、「指定規模の用途の建築物、多数の者が利用する建築物」とある。その指定建築物の中に児童厚生施設があり、この規模要件は2階以上、1000㎡以上である。小野田児童館（2階、1220㎡）は該当するのではないか。

答 この耐震改修促進計画をつくる際、児童厚生施設は、全体の延床面積ではなく、実際に使用している床面積が対象という説明を受けている。その判断のもと1000㎡以下で、この計画には載っていないが、法律の内容、基準等精査して、今後の対応を検討したい。

子どもたちの安全は守れるのか！

問 建築当時に植えられた木の根が教室まで入り込み、根上がりを起こし1階のフロアが波打っている状況である。早期に耐震調査すべきではないか。

答 内部でしっかり検討し、結論を出したい。



老朽化している小野田児童館



問 少子化対策を念頭に仕事と家庭の調和、いわゆるワークライフバランスの徹底をする必要があると思うが、市の取り組み状況はどうか。

答 社会環境の変化、行政需要の多様化により職員一人一人の負担、責任が増しているが、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりの取り組みを進めている。職場によっては偏りは否定できないが、所属長に人事ヒアリングを行い、必要な人員・人材の配置に努めている。

問 児童クラブの運営時間と、保護者の就業時間がミスマッチしているのではないか。

答 働く女性が増え、要望があることは承知している。ミスマッチのないよう努力する。まずは児童の利益を最優先に、サービスの拡充を図りたい。

仕事と家庭の調和

小中学校にエアコン設置を

問 暑さ対策として、エアコンの小中学校への設置を他市よりも早期に行い、快適な教育環境整備を進めていることをアピールしてはどうか。

答 子育てに熱心な自治体をアピールするのは人口定住、人口減少抑制策として非常に有効策と思うが、本市でリース形式で行うと、10年間で電気代を含めて約6億円かかる試算が出ている。限られた財源をどこに集中するか、どのようなまちづくりに特化するか、総合的に予算配分等を考えていきたい。

子育て世代に選ばれるまちづくりを

【今回の一般質問】

- ・ ワークライフバランス
- ・ 児童クラブの運営時間
- ・ 教育環境の整備



◎議案に対する議員の賛否状況

10月臨時会で議案等3件を、12月定例会で議案等31件を審議し、賛否の分かれた2件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。

全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

平成29年10月臨時会、12月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																					
		伊場勇	大井淳一朗	岡山明	奥良秀	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	水津治	杉本保喜	高松秀樹	恒松恵子	中岡英二	中村博行	長谷川知司	藤岡修美	松尾数則	宮本政志	森山喜久	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	小野泰
山口東京理科大学薬学部増築工事（A、B棟電気設備工事）請負契約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第二次山陽小野田市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定について【（修正案を除く）原案】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権又は欠席 小野泰議員は議長であるため賛否の結果はありません。

お知らせ

3月定例会会期日程（予定）

本会議の日程

3月定例会の日程（案）をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	本会議
2月19日(月)	議案上程・説明
2月27日(火)	代表質問
2月28日(水)	一般質問
3月1日(木)	一般質問
3月2日(金)	一般質問
3月5日(月)	一般質問
3月6日(火)	質疑・討論・採決
3月28日(水)	質疑・討論・採決

編集室より



昨年10月に市議選が行われ、新議員22人が決まり、このまちの未来を託され船出をしました。

このような中、まちづくりの基本となる第2次総合計画が4月からスタートし、スマイルシティの実現に向け動き出します。

議会としても、市民の幸せと豊かなまちづくりのため、さらなる議会の活性化に取り組みます。ご期待ください。

◎広報特別委員会

委員長 山田伸幸 副委員長 森山喜久
委員 大井淳一朗 委員 岡山明
委員 河崎平男 委員 河野朋子
委員 笹木慶之 委員 水津治
委員 恒松恵子



《表紙の説明》 百万遍念仏は毎年2月16日に有帆片山地区で行われます。五穀豊穰と家内安全等を願い、江戸時代末期から150年以上守り継がれてきました。長さ10m、333個の大数珠を回し、中央では子どもたちがお経のリズムに合わせ太鼓を打ちます。